

【第4学年国語】

話題に沿って必要な事柄を集め、  
取材した事柄を分類・整理し、段落の役割を意識しながら一貫性のある文章を書く

1 指導計画

- 1 時間目 紹介文を書く際に必要な事柄を集めるための取材の仕方について理解する。
- 2 時間目 北山森林公園のパンフレットの内容を分類・整理し、「始め - 中 - 終わり」の内容に一貫性をもたせることの大切さを理解する。
- 3 時間目 「北山森林公園でできる親子活動」について、自分の決めた取材メモで紹介文を書き、交流する。

2 指導のポイント

本単元は、取材したことを基にし、書くために必要な事柄を決め、それらを段落構成を意識しながら相手に分かりやすく紹介する文章を書くことをねらっている。「知りたい事柄を集める取材の力」「集めた事柄を分類・整理する力」「段落の役割を意識し、一貫性のある文章を書く力」を付けるために、3時間に分けて指導していく。

1 時間目

インタビューの質問の内容を考えるとときやメモを取るときに大切なことを考え、紹介文を書く際に必要な事柄を集めるための取材の仕方を理解する。

2 時間目

北山森林公園のパンフレットを読み解き、内容の異同により、分類・整理し、ラベリングをするとよいことを理解する。また、町田さんの《組み立て表》を基に、「始め - 中 - 終わり」の内容に一貫性をもたせることの大切さを理解する。

3 時間目

町田さんが書いた紹介文のまとめの書き方を参考に「終わり」の文章を考えることで、一貫性のある文章の書き方を理解する。自分の決めた取材メモで、町田さんが書いた紹介文を参考に、条件に合った文章を書き、交流する。

3 各時間の指導計画

(1) 紹介文を書くために必要な事柄を集めるための取材の仕方を考える (1 時間目)

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p><b>課題を把握する</b></p> <p>町田さんのクラスでは、夏休みに「親子で一緒に野外で遊ぼう」というテーマで親子活動をすることになりました。町田さんの学級にいるつもりで、海水浴場や森林公園についてお家の人へ紹介するための文章の書き方を考えていきましょう。今日は、南風海水浴場を管理する秋山さんへのインタビューの仕方について考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27 問題を読み、課題を把握する。</li> <li>・質問の内容について、自分たちの予想を立てさせ、考えをもたせる。</li> <li>・自分の考えと比べながら問題の質問のよさについて考えさせる。</li> <li>・Aはおすすめとして大きな内容を聞いていることを押さえる。</li> </ul>
<p><b>質問の仕方を考える</b></p> <p>T どんな内容を質問するとよいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おススメのことを聞くとよい。</li> <li>・親子で遊べるのか聞くとよい。</li> <li>・どんな遊びができるのか聞くとよい。</li> </ul> <p>T 問題では、どのような内容を質問しているのでしょうか。また、それはなぜでしょうか。</p>	
<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">わたしたちは、「親子いっしょに野外で遊ぼう」というテーマで親子活動ができる場所をさがしています。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">A</span></p>	

- ・Aに入るのは、①だと思う。なぜかという、秋山さんの答えの一文目が「一番のおすすめは～海水浴です」と言っているから、「おすすめ」を聞いているからだ。
- ・まず、おすすめのことを聞いている。それは、最初は大体どんなことができる場所なのか、全体的なことを知るためだと思う。

親子で楽しく海水よくができるのはよいですね。 B

- ・Bに入るのは、②だと思う。なぜかという、秋山さんの答えの一文目が、「海の生き物と触れ合えるいそ遊びできます」と言っているからだ。
- ・二つ目の質問では、細かいことを聞き始めている。それは、全体の事が分かったから、詳しいことを聞くとよく分かるからだと思う。

**まとめ1**

- ・インタビューでは、全体の事柄を聞いてから、細かい事柄を聞くように、順番を考えて質問をしていくと分かりやすい。
- ・答える人の最初の一言には特に注意する。(自分が答える場合にも)

**メモの仕方を考える**

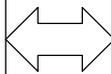
T メモをする際に気を付けることは何でしょうか。町田さんの学級の

《取材メモ》とインタビューの内容を比べてみましょう。

- ・短い言葉で書く。
- ・箇条書きで書く。
- ・大事なことを落とさないで書く。

**【秋山さん】**

一番のおすすめは、やはり海水よくです。この海のじまは、波がおだやかで、水がとともきれいなことです。おかげで、大人も子どももいっしょに楽しく水遊びをしたり、泳いだりすることができます。他の海水よく場に負けない、すばらしいことだと思います。



ア

海水よく  
 ・波がおだやかで、水がきれい。  
 ・大人も子どもも、いっしょに楽しく水遊びをしたり泳いだりすることができ。  
 ・他の海水よく場に負けないすばらしいこと。

**まとめ2**

- ・メモをする際には、短い言葉で内容ごとに分けて、箇条書きで書くとう分かりやすい。

- ・Bは自分の聞きたい内容から、絞って聞いていることを押さえる。

- ・インタビューをする際に大切なことを学習内容としてまとめる。

- ・取材メモとインタビューの内容を比べさせる。
- ・発見したことを整理する。

- ・取材をメモする際に大切なことを学習内容としてまとめる。

- インタビューの質問の内容を考えるとときやメモを取るときに大切なことを理解できたか。

(2) 書くことに必要な事柄を内容の異同で分類・整理するとともに、「始め - 中 - 終わり」に一貫性をもたせて文章を書くことの大切さについて理解する (2 時間目)

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p><b>課題を把握する</b></p> <p>取材メモの整理の仕方や組立表から、紹介文を書く際に大切なことを考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問い四と問い三について扱うことを知らせる。</li> </ul>
<p><b>取材メモの分類の仕方を考える</b></p> <p>T 問い四のパンフレットから分かったことのメモのグループの名前はどうかしたらよいでしょうか。また、それはなぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カとキは、「体を動かす活動」だと思う。なぜかという、ボールもア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの言葉が、メモにどのように生かされているか考えさせる。</li> </ul>

- ストレッチも体を動かす活動だから。
- ・問題にある言葉を使ってだから、「～活動」に合うようにするとよい。
  - ・クとケは、「自然と触れ合う活動」だと思う。なぜかという、植物も魚も自然に関係あることだから。

**まとめ1**

- ・取材したことは、同じ内容ごとにまとめるとよい。
- ・グループ分けした内容は、関係のある大きな言葉で名前を付けるとよい。(ラベリング)

《組み立て表》から、文章構成を確認し、必要な題材の決め方について考える

T 町田さんの組み立て表はどのような構成になっていますか。

終わり	中	始め
④ 活動二 「アスレチック」 ※遊んだ順番……イ	③ 活動一 「魚つり」 ※遊んだ順番……ア	① 始まり 「お買い物」 ② 地元の海でとれた魚や海そうを売っている。 ⑤ 町田さんのお買い物について紹介する文章を書きましょう。

- ・「始め - 中 - 終わり」になっています。「中」は二つに分かれる。
- ・「始め」と「終わり」は「親子活動のテーマに合った」と繰り返していて、言いたいことがはっきり分かる。

T 町田さんは、なぜ「ウ お買い物」を選ばなかったのでしょうか。

- ・テーマは「親子で一緒」だから、お買い物は一人でもできるから。
- ・テーマは「野外で遊ぼう」だから、お買い物は外じゃないし、遊びと言えないことがあるから。
- ・「始め」と「終わり」に書いたテーマに合わないことは、「中」に選んではだめだと分かった。

ウ お買い物

- ・とても広いおみやげ屋さんがある。
- ・地元の海でとれた魚や海そうを売っている。

・おうちの人は、とてもよろこぶ。

**まとめ2**

- ・「始め」に話題提示。「中」で説明。「終わり」でまとめをする。
- ・「中」の内容は、テーマに合ったものを選んで決める。

- ・組み立て表から、構成を考えさせる。その際、「始め」は話題提示や問題提起、「中」は説明、「終わり」はまとめや主張という役割を押さえる。
- ・「始め」と「終わり」が同じことを伝えていることを押さえる。

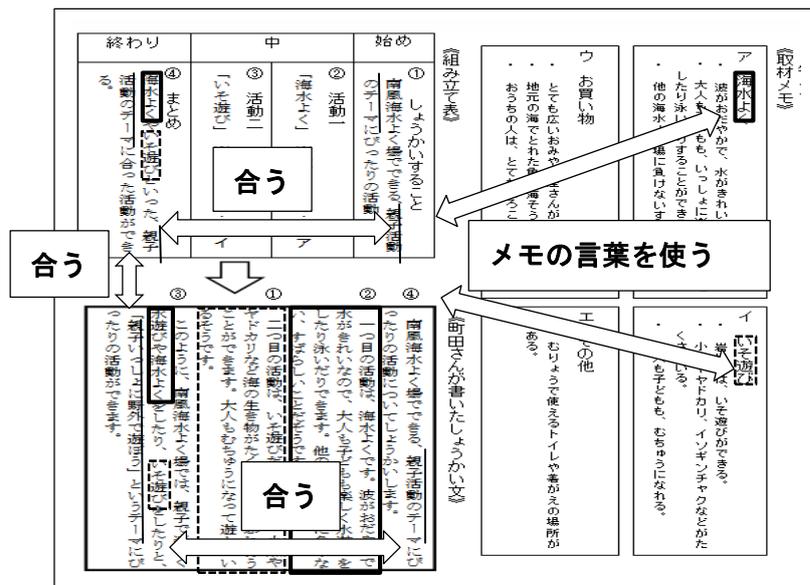
- ・テーマに合わないことを、言葉を根拠にして話し合わせる。
- ・テーマは 2 つの条件を伝えていることを押さえて話し合わせる。

□ 取材した内容の分類の仕方や内容に一貫性を持たせて題材を決めることの大切さが理解できたか。

(3) 「北山森林公園でできる親子活動」について、自分の決めた題材で紹介文を書き、交流する。(3時間目)

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p><b>課題を把握する</b></p> <p>町田さんの学級の一員になったつもりで、北山森林公園について紹介する文章を書きましょう。</p> <p>T あなたは、<b>あ</b>と<b>い</b>からそれぞれ、どの題材を選んで書きますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>あ</b>からは、「アスレチック」のことを選んで書こう。</li> <li>・<b>い</b>からは、「魚つり」のことを選んで書こう。</li> </ul> <p>T 組み立て表には、終わりが書かれていません。町田さんの文章を参考にすると、どのようなまとめを書くとよいでしょうか。また、それはなぜでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を選んでもよいが、児童の立場をはっきりさせる。</li> </ul>

《黒板に掲示し、対応させる書き込みの例》



- ・問題文と組み立て表を黒板に掲示し、対応させながら意見をまとめる。
- ・内容のまとまりのラベリングを利用して、まとめを書くときよいことを押さえる。
- ・「始め」のテーマを繰り返すことも押さえる。

・ **あ**と**い**に、選んだことを両方入れて書くとよいな。取材メモの題名の言葉をもらてこよう。

**まとめ**

- ・「親子で一緒に野外で遊ぼう」というテーマを繰り返して書くとよい。
- ・「始め」「中」の内容と、しっかりと合っているかどうか考える。

**これまでの学習を活用し、自分の紹介文を書く**

T 条件を確認して、自分の紹介文を書きましょう。

- ・223字を超えるけど、320字を超えてはいけないな。線を見るとよい。
- ・名前も題名もいらない。一行目から一マス空けて書き始めるのだな。
- ・段落が四つだ。四つになるのは、「中」が二つに分かれるからだ。
- ・文の終わりにも注意だ。「～です」「～ます」の丁寧な形で書くのだな。

T 書いた文を仲間と紹介し合って、「始め - 中 - 終わり」の内容がつながっているか、確認した条件に合っているかアドバイスしましょう。

- ・文字数は大丈夫だった。
- ・一行目に一マス空いていないよ。これでは、段落って言えないな。
- ・中を二つにできたね。組み立て表のとおりだ。
- ・一つだけ、「～だ」というところがあった。直すよよいな。
- ・「始め」と「終わり」にテーマを繰り返してよかった。
- ・「終わり」は、「中」の内容を二つとも書いていて、よいまとめになっていた。

T 取材の仕方が分かり、取材した事柄の整理の仕方や「始め - 中 - 終わり」の構成を考えた文章の書き方が分かりましたね。これからも、このような書き方を生かして、相手に分かりやすく伝えていきましょう。

- ・「条件を満たす」とはどのようなことなのか、児童の実態に応じて明確に押さえる(児童の言葉で説明させるなど)。

- ・読み合う視点を明確に事前指導してから、交流させる。(推敲ポイントの明示)
- ・内容の不整合があった場合や条件に合わない場合は、代案を書き込ませるなどのアドバイスを行う。

□ 内容に一貫性をもたせ、条件に合った紹介文が書けたか。